

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	29-02-02
原子炉建屋内	RB	RB	5		
タービン建屋内	TB			2	距離
R ZONE	R			3	遮へい
Y ZONE	Y			4	線源の除去
G ZONE	G			5	遠隔、味ツト化
その他 ()	Z			6	汚染拡大防止
				7	その他
内容		リモートモニタリングシステムの採用			
作業部位		原子炉建屋を中心に高線量率エリア			
概略		米国製の遠隔監視システムを採用し、高線量率エリアに立ち入らなくても作業者の管理・監視を行うことができるようになった。			
評価 (定性・定量)	効果	被ばく線量(mSv)	対策前	対策後	
		人工数(人日)	相対値1.0	相対値0.87	
事例詳細					

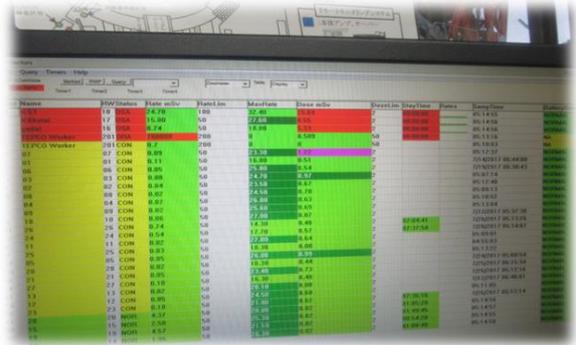
対策前 被ばく低減は、工学的対策→管理的対策の順に行うことが求められているが、管理的対策ツールが導入されることは従来少なかった。

対策内容 米国製モニタリングシステムを導入し、元方事業者にそのシステムを貸与することで管理・監視業務の円滑化・省力化による被ばく低減を図ることが可能となった。

現場状況(写真)



本部



通信画面



X53ペネ 環境測定用



IPカメラ画像